



国民春闘共闘

第 27 号

2019 年 3 月 25 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
 ☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

19 国民春闘賃上げ第 2 回集計

**単純平均 5,360 円、加重 5,806 円・1.88%
 要求をあきらめず、ねばり強く、たたかおう！**

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 23 日、第 2 回目の賃金改定集計を行い、11 単産・部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2019 年	2018 年（同期）
登録組合数	797	818
回答引き出し組合数	273 (38.3%)	285 (34.8%)
うち金額・率の回答	211	210
うち「定昇確保」など言葉による回答	62	75
うち上積み獲得	30 (11.0%)	31 (10.9%)
うち妥結組合数	33 (12.1%)	41 (14.4%)

<回答内容>

集計方法&対象		2019 年	2018 年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	5,360	5,531	-171
	率（%）	1.92	1.94	-0.02
加重平均	額（円）	5,806	5,929	-123
	率（%）	1.88	2.05	-0.17
	組合員数	45,048	55,378	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
187	102 (54.5%)	72	30

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	187	5,373	5,529	-156
	率（%）	158	1.93	1.93	±0

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

3月22日の第2回集計には、11単産・部会から報告が寄せられました。

登録797組合のうち、回答を引き出したのは273組合・38.3%で、回答引出し率は前年同期（2018年3月23日現在・34.8%）を3.5%上回りました。また、273組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が62組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は211組合となっています。また、回答引出し組合の11.0%にあたる30組合が2次回答以上と上積み回答を引き出し、33組合が妥結となっています（妥結率12.1%）。回答引き出し率で前年同期よりやや改善し、一昨年同期の水準に回復しました。ほぼ例年なみの回答引き出し状況となっています。

回答内容

有額回答を引き出した211組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,360円・1.92%で、前年同期比171円減・-0.02%となっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,806円・1.88%で、前年同期比123円減・-0.17%となっています（額のみ・率のみの回答の組合があるため額・率は連動せず）。

出版労連・JMITU・民放労連・地方マスコミなど11組合が1万円以上の賃上げを勝ち取り、24組合が8,000～9,000円台の引き上げを獲得しています。率では、JMITUの組合で4%を超える引き上げを獲得した組合をはじめ、JMITU、全印総連、民放労連、出版労連、地方マスコミの15組合で3%を超える引き上げとなっています。

同一組合での対比が可能な187組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,373円で、前年実績を156円下回っています。また、前年実績以上の回答を引き出せた組合は102組合（54.5%）で、前年同時期の57.8%を下回っています。賃上げ率では158組合の比較で、1.93%で前年実績と同率となっています。

全体としては、賃上げ要求に正面から答えないだけでなく、前年実績を下回る厳しい回答状況となっています。そうした中でも、人手不足の状況もあり、初任給の引き上げ、若年層の一部ベアなどの回答が昨年に引き続き多く寄せられています。要求水準に達していない組合では、職場で作ってきた要求にたって、あせらず、あきらめず交渉を継続し、上乘せ回答を引き出しましょう。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、建交労、JMITU、生協労連、全印総連、日本医労連、地方マスコミの6単産97組合から209件の成果獲得の報告が寄せられています。

時給制労働者では、引き上げ額で95件の平均で18.7円となっています。率では、37件平均で1.80%の引き上げとなっています。比較可能組合でみると、額では50件の単純平均で16.7円と前年実績比-2.1円と若干マイナスとなっています。引き上げ率では、4件の単純平均で0.45%と前年実績と同率となっています。そうした中でも、生協労連の組合では35円・(4.58%)の賃金引き上げ（いわて生協）の回答を勝ち取るなどの成果も出ています。

月給制では、生協労連をはじめ、36件の獲得報告が寄せられています。引き上げ額では、26件の単純平均で2,515円の回答となっています。前年実績との比較可能組合では、14件の単純平均で2,340円で前年実績を158円下回っています。

再雇用者の賃上げ状況については、時給制 14 件、月給制 16 件の獲得報告となっています。引き上げ額では時給制で 11 件 22.5 円、月給制で 4 件 1,780 円となっています。

企業内最低賃金改定状況

企業内最賃協定の獲得状況について、JMITU、化学一般労連、生協労連、日本医労連の 4 単産 40 組合から 82 件の獲得報告が寄せられています。職種などの限定のない「誰でも」協定では、時給制で 51 件の獲得報告があり、新協定額の報告のあった 50 件の平均では 935 円、引き上げ額・率では 31.0 円・3.50%（額・率は連動しない）となっています。日額制では 7 件の獲得報告があり、新協定額 7,794 円となっています。引き上げ額・率は 175 円・2.11%となっています。月額改定では 14 件の獲得報告が寄せられ、新協定額の単純平均は 171,347 円、引き上げ額・率は 4,000 円・2.36%となっています。

最低賃金制度要求・底上げ要求を受けて、時間給・日額・月額とも引き上げ率では、賃上げ集計の賃上げ率（1.92%）を大きく上回る成果を引き出しています。引き続き職場から、時給 1000 円以下をなくす取り組みを強めましょう。

<参考>他団体の賃金改定状況

●連合の第 2 回回答集計（平均賃上げ方式・3 月 22 日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		単純平均				加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
全組合	1,244	117.4	5,510	2.07	5,681	2.13	6,475	2.13	6,508	2.17
中小共闘	642	7.1	5,054	2.03	5,163	2.09	4,810	1.99	4,490	1.87

※中小共闘は、規模 300 人未満

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8 時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍 9 条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**